

Wi2 とニッポン放送、無線 LAN を利用したインターネット動画放送の中継を実現

2009年8月4日

株式会社ワイヤ・アンド・ワイヤレス（本社：東京都港区、代表取締役社長：日比野雅夫、以下 Wi2）と株式会社ニッポン放送（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：磯原 裕、以下ニッポン放送）は、このたび、Wi2 の無線 LAN (WiFi*1)ブロードバンド・インターネット接続サービス「Wi2 300」を利用したインターネット動画放送のスタジオ外からの中継を実現しました。無線 LAN を利用することで、無線 LAN ネットワーク内であれば、場所、時間にとらわれず、また低コストでインターネット動画放送の中継が可能となります。

ニッポン放送では、従来、スタジオ外での映像の中継する為に、光回線を利用して行っていましたが、中継の機会毎に光回線を引き込むことが必要であり、回線を敷設するための時間やコスト面が課題でした。無線 LAN ネットワークの活用による中継は、これらの課題を解消し、より柔軟性が高い中継体制が実現されます。この環境により、質の高いインターネット動画放送の番組が構成され、より視聴者ニーズにマッチした内容を放送することが可能となります。

今回、ニッポン放送のインターネットラジオ Suono Dolce（スオーノ・ドルチェ）が利用する、Wi2 の自社アクセスポイント (AP) が設置されている Wi2 300 の丸の内エリアは、最大理論値 300Mbps の IEEE 802.11n (*2) 技術をサポート、光回線と同等速度の接続によりデータ量の多い映像も遅延なく送信することができます。

今回、Wi2 300 を利用した第一弾の中継として、7月31日に行われた「大手町・丸の内・有楽町打ち水プロジェクト2009」のイベント「仲通り浴衣 de 打ち水」の中継を両社で協力して実施しました。このプロジェクトは、都市部特有のヒートアイランド現象緩和に向け、大手町・丸の内・有楽町エリアで打ち水を行うプロジェクトです。この中継には、映像伝送機器として（株）フジテレビジョンが開発した「V i d e o C a s t」を使用、Wi2 が丸の内ビル1階に設置した WiFi 設備を中継設備として用い、ニッポン放送へ映像を伝送しました。

今後、Wi2 とニッポン放送では、W i F i を利用したインターネット動画放送の中継や配信の仕組みを共同で検討していきます。また、丸の内の更なる活性化はもとより、他のエリアでの展開を図っていきます。

*1 WiFi

IEEE 802.11 シリーズの標準規格で、WiFi 技術を元に作られたネットワークを一般的に無線 LAN といいます。2.4GHz 帯や 5GHz 帯など免許の不要な周波数帯を利用し、最高伝送距離は 100m、最高伝送速度は 300Mbps (11n) もしくは 54Mbps (11a/g) の近距離無線技術。ノート PC から始まり、iPhone™3G 等携帯電話や、ニンテンドーDS、PSP®、iPod® touch 等ゲーム機など多様なモバイル端末に普及しています。

*2 IEEE802.11n

802.11n Draft2.0 (3x3 MIMO) とデュアルチャネルにより、理論値で最大 300Mbps を実現します。

技術的には「MIMO (Multiple Input Multiple Output) (*3)」の使用、通信手順の見直し、複数のチャンネル（通信に用いられるバンド幅）を結合するチャンネルボンディング（チャンネル結合）等により、広帯域化を行う一方、802.11a/b/g に比較して、より広帯域の通信が可能なエリアが広がる等の安定化を実現しています。

【本件に関するお問合せ】

■報道関係の方のお問合せ先

株式会社ニッポン放送

デジタル技術局 デジタルソリューション部 広報担当 五戸

TEL : 03-3287-7582 Eメール : info_all@jolf.jp URL:www.jolf.co.jp

株式会社ワイヤ・アンド・ワイヤレス

広報担当 有馬、七條 TEL : 03-3453-6305 Eメール : pr@wi2.co.jp URL:www.wi2.co.jp